

セキュアアクセスデバイスポスチャの断続的な "；期限切れ"；エラー

内容

お問い合わせ内容

Cisco Secure Accessのデバイスポスチャでは、登録済みデバイスのステータスが断続的に「古い」と表示され、Zero Trust Accessポスチャ検証が行われません。

特定の時間帯に次のエラーメッセージが表示されます。

- 「デバイスのポスチャが古い」
- “デバイスのセキュリティチェックを自動的に実行できませんでした”

この問題は、Duo DesktopがWindowsアップデート、システムパスワード設定、BitLocker暗号化、ファイアウォールの有効化などのすべてのセキュリティ要件に完全に準拠していることを示しているにもかかわらず発生します。問題が発生する期間は、該当するデバイスの登録を解除して再登録しようとする、内部エラーが発生して失敗します。通常の動作に戻る唯一の一時的な回避策は、システムの完全な再起動を実行することです。これにより、ユーザのアクセスと生産性が中断されます。

その他の症状として、AnyConnect VPNが問題期間中に接続を維持し、ゼロトラストアクセス登録とポスチャ検証プロセスが予想可能な時間枠内に断続的に失敗することがあります。

環境

- Cisco Secure AccessとDevice Posture機能の有効化
- Duo Desktopクライアントによるデバイスのコンプライアンス検証
- BitLocker暗号化、システムパスワード、およびWindowsファイアウォールが有効になっているWindowsエンドポイント

- ポスチャ検証を必要とするゼロトラストアクセス導入
- Cisco Secure Accessで設定されたポスチャプロファイルと一致するデバイスコンプライアンスステータス

解決策

この問題は、Cisco Secure Accessクライアントを最新バージョン5.1.15.287にアップグレードすることで解決されました。このバージョンでは、断続的なデバイスポスチャ検証エラーの原因となった根本的な不具合に対処します。

クライアントのアップグレードプロセス

ステップ1：影響を受けるエンドポイントの現在のクライアントバージョンを特定します。

アプリケーションインターフェイスまたはシステムインストールレコードを使用して、既存のCisco Secure Accessクライアントのバージョンを確認します。

手順2：クライアントバージョン5.1.15.287をダウンロードして導入します。

適切なシスコのディストリビューションチャネルから更新されたクライアントソフトウェアを取得し、デバイスポスチャ検証の問題が発生している影響を受けるすべてのエンドポイントに導入します。

手順3：解決策を確認します。

クライアントのアップグレードが完了したら、以前に問題が発生した時間帯にデバイスのポスチャステータスを監視し、システムをリブートせずに安定した動作を確認します。



注：最新バージョンのSecure Clientをインストールすることをお勧めします。

検証手順

クライアントのアップグレード後に、次の点を確認します。

- デバイスのポスチャ検証は、以前は問題となっていた期間に正常に完了します。
- 内部エラーのないゼロトラストアクセス登録機能。
- 登録の解除と再登録の操作は、必要に応じて正常に完了します。
- デバイスのポスチャコンプライアンスを維持するためにシステムをリブートする必要はありません。
- Duo DesktopとCisco Secure Accessのポスチャステータスは同期されたままです。

原因

断続的なデバイスポスチャ検証エラーは、Cisco Bug ID CSCws68569が原因で発生しました。この不具合は、Cisco Secure Access Clientとポスチャ検証サービス間の通信に影響を与えました。その結果、一時的な同期の問題が発生し、特定の運用時間中の正確なデバイスコンプライアンスステータスレポートの作成が妨げられました。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。